

教員用指導案

■ 前回の内容

研究手法のまとめを作成し、提出（ノート p.22 を記入→教員添削済みの状態）

■ 本時の目的

1. 教員からの添削を踏まえて研究手法を修正する。
2. 研究計画書を作成し、研究に必要な物品や準備のイメージを掴む。

■ 事前連絡（担任から生徒へ）

研究テーマがまだ確定していない班は、あらかじめ班で集まり決定しておく。ノートの p.22 が記入された状態で授業に臨むこと。

■ 当日の配布物・掲示物

- ✓ タブレット（班で 1 台）
- ✓ 購入希望物品および使用教室申請書（班で 1 枚）
- ✓ 研究計画書の下書き用紙（班で 1 枚）←ノート p.24・25 は清書用にとっておきます

■ 本時の流れ ※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。

導入（5分）

1. タブレットと「購入希望物品および使用教室申請書」を配布
2. ルーブリックで、本日の活動目標を確認する
 - ✓ ルーブリックのイ、「研究計画書の作成」を参照させ、本時の目標を把握させる
 - ✓ 授業終了時に 1～4 の 4 段階で自己評価することを知らせておく

展開1（10分）研究手法を修正する

1. 添削内容をもとに研究手法を修正する
 - ✓ ここからタブレット使用可能
 - ✓ ノート p.22 の内容を適宜修正しながら話し合いを進める

展開2（30分）研究計画書を作成する

1. 研究計画書の意義や基本構造及びポイントについて紹介する
 - ✓ メソッド p.90・91 を参照（班毎に進度が違いため、全体への説明は簡単に済ませる）
 - ✓ 前回作成した「研究手法のまとめ」をより具体的にしたものが研究計画書
 - ✓ 仮説の不備や実行可能性を見定めるための重要なステップ
 - ✓ この時間に完成させて提出することが目標（指導教員で添削することを伝える）

2. 研究計画書作成に着手

- ✓ 研究計画書の下書き用紙を記入しながら話し合いを進める
- ✓ かならず記入するのは、①タイトル ②キーワード ⑤研究目的・意義 ⑥研究手法
その他は、時間があれば記入する
- ✓ 調べたHPのURLは、⑧引用・参考文献の欄にメモしておくが良い
- ✓ 研究活動は全8時間の予定（理型2時間連続×4回、文型1時間×8回）

3. 購入希望物品および使用教室申請書を記入する

- ✓ 自分たちで用意できないものと用意できるものを分けて記入する
（教員が添削して購入の可否を決めてから返却。）←岡本先生にチェックして頂きます
- ✓ 以前配布した「本校で使える物品一覧」も参考にする
- ✓ 研究で使いたい場所も記入

まとめ（5分）

1. 下書き用紙の回収&ループリック記入

- ✓ 下書きを回収する（未完成の班は後日提出）
- ✓ ノートの表紙裏のループリックを開き、観点イ、「研究計画書の作成」を記入する
※ループリックは回収しません

2. 購入希望物品および使用教室申請書を回収する

3. 次回の予告

- ✓ 活動⑧⑨は、予備実験または予備調査を行う（理型は2時間連続、文型は単独実施）

{	7・8・9組→7/13(木) ⑧⑨
	5・6組→7/14(金) ⑧⑨
	文型→7/7(金)⑧と7/14(金)⑨
- ✓ 予備実験で、どの程度まで本番に近づけた実験をするかは班に委ねる
（この日は、まだ購入希望物品が届いていないので注意）

4. 次回の持ち物

- ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート
- ✓ 予備実験・予備調査に必要な物品

■ 事後処理

1. 研究計画書を添削する（下書き用紙）

とくに、⑤の目的や意義が明確になっているか？と、⑥の研究手法に無理がないか？の2点について、可能な範囲で添削してください（期末テスト明けに返却して頂けると、生徒も予備実験の準備に取りかかれますので、ご協力よろしくお願いたします…）。

2. 回収した「購入希望物品および使用教室申請書」を高山の机上までお願いたします。